

## 当たり前のことを当たり前～集中力向上～

校長 柏木博之

学校のスイセン・キンギョソウが咲き始めました。生き物は確実に春を感じています。平成25年も4週間経ちますが、新年あけましておめでとうございます。かねてより、本校の教育活動にご協力とご支援をいただき誠にありがとうございます。



寒い中をよく耐え、いいにおいを届けてくれています。

帰省していた子供たちが全員そろった1月8日の始業式では、次のような話をしました。

\*\*\*\*\*

私はこの正月を島で過ごしました。初日の出を見て、成人式にも出席しました。昨日のクセンボや鬼火など島の行事もいいもんだなと思いました。それ以外は、本を読んだり、テレビを見たりしていました。その中で一番印象に残っているのは、1月2日・3日の箱根駅伝です。

優勝したのは日体大。去年は20チーム中19位でした。チームを立て直し、優勝するために何をしたら「当たり前のことを当たり前にする」です。

どんなことをしたかという、「練習前、選手全員がそろってあいさつする。」「練習前後のグラウンド整備と10分間の草むしり」「競技を終えてのグラウンドや走路への感謝の一礼」「生活をきちんとする。たとえば、同じ時間に寝て起きて、しっかり食事をする。残さず食べる。」などです。日体大の学生は、最初、いやいややって窮屈に感じていましたが、意識しないことができるようになってきて、練習の成果が出てきたそうです。そして、試合で何がおきてもぶれない・動じない安定感が出てきたそうです。

よく先生たちが「規則正しい生活をしよう」ということはこれと同じです。いろいろ注意されて初めはムカっとしても、よくしていこうという素直な気持ちで生活していきましょう。

「当たり前のことを当たり前にする」生活を続け、3学期を満りの学期、自分の思いを実現させる学期、そして次の学年・次の学校への準備をする学期にしてください。みんなの成長する姿を楽しみにしています。

\*\*\*\*\*

日体大の別府監督は、恩師の兵庫県立西脇工業高校陸上部前監督渡辺公二氏を特別強化委員長として招いて、生活面の指導を徹底したそうです。渡辺氏が西脇工高に赴任したとき陸上部は解散していました。それから部員を勧誘し、0から部をつくり、練習だけでなく「当たり前のことを当たり前にする“人間づくり”」を徹底しました。その結果、9年を経て全国大会に出られるようになり、優勝は全国最多の8回です。

三島小中学校でも「当たり前のことを当たり前」できる場面がいっぱいあります。“靴をそろえて下駄箱に置く。傘はしっかりたたんで、束ねて傘置きに入れる。立ったらイスを入れる。脱いだ服はきちんとたたんで置く。棚や机の中は整理整頓・・・”これらを気をつけてやっていると、そのうち無意識でできるようになります。人間は好奇心旺盛なので目の前のことに意識を100%集中できないことが多いです。「当たり前のことを当たり前」することで、目の前のことに集中できる力をつけていきましょう。

毎日放課後も学校で勉強していた中学3年生も全員私立・公立高校入試のために島を離れました。中1・2年生は“春の祭典”で銀賞を受賞しました。3名という人数での銀賞は金賞に値します。放課後の練習など毎日がんばっていたからです。子供たちの成長する姿が毎日のように見られる3学期です。

## 春の祭典堂々の「銀賞」受賞

20日(日)、中学部1・2年生3名が「第46回鹿児島県中学校音楽コンクール『春の祭典』」の合唱部門において、堂々の“銀賞”受賞を果たしました。夏の祭典では、8年連続の金賞受賞で実績を積んできている本校ですが、合唱部門ではまだ2回目の挑戦です。昨年に引き続き西山裕雄先生に来島いただき指導を仰いだり、毎日放課後や休みの日などを使い練習を重ねたり、あらゆる努力をしてきました。その努力が、銀賞受賞の成果につながりました。わずか3人の生徒で成し遂げた金賞に十分に値する銀賞の受賞でありました。この貴重な経験をこれからの生活に生かしてくれるものと期待しています。



みなさんのおかげで堂々の銀賞をとることができました。ありがとうございました。

## クセンボ

8日(日)に地区の伝統行事であるクセンボが行われました。今年は、男児9人がクセンボ(福祭文棒)を持って、鉢巻姿で元気よく参加しました。祝詞を唱えながら勢よく地面をつき、終わったときには無事役目を果たしほっとしているようでした。子どもたちにとって伝統文化に触れる貴重な体験活動となりました。



クセモン棒は、前日にお父さん方など地区の方々により、作られました。

## 合唱発表・高齢者の方々へのメッセージカード



19日(土)の高齢者学級の際にこれまで練習してきた“合唱”の発表をしました。中学1・2年生が「ふるさと」の合唱を披露しました。これは、春の祭典に出る前にまず地区の方々に練習の成果を披露したいという気持ちからのことです。地区の方々に励まされ、おかげさまで自信を持って春の祭典に臨むことができました。その後、高齢者の方々へ向けて、日ごろの感謝の気持ちを込めて“メッセージカード”を贈りました。高齢者の方々には、授業参観に来ていただいたり、「ふれあいスポーツ大会」を一緒に楽しんだりと日頃からお世話になっています。高齢者の方々に楽しく見ていただけるように切り絵が飛び出すカードにしました。今後も高齢者の方々とのふれあいを大切にしていきたいと思ひます。

## 子供会もちつき大会

19日(土)に、毎年恒例の子ども会の「もちつき大会」がありました。子どもたちは、おいしいもちができるように、力をいっぱい込めて“うず”の中の“もち”をつきました。最近では、このようにもちをつくことも少なくなり、初めてもちつきをしたという子も二人いました。自分たちでついたもちが格別においしいようでした。

